

ワーカーズアクション 2023 を実施！ 新しい本庁舎見学と特別市について理解を深める

11月14日（火）、川崎市本庁舎において「ワーカーズアクション 2023」を実施しました。今回のアクションは「新庁舎見学」と「みらい市議団控室見学」、「特別市説明会」をおこないました。参加者は84名でした。



本庁舎エントランス前

アクションの1つ目は、耐震対策として建て替えを進めてきた本庁舎が2023年6月に竣工しました。その新しい本庁舎を見学しました。再現された旧市長室や議場、展望フロアなどの見学箇所を説明員に案内いただきました。参加者からは、「新しい本庁舎はとてもきれいで快適そうだ」という感想が聞かれました。



再現された旧市長室

2つ目のアクションは、第2庁舎から本庁舎へ場所を移した川崎市議会について。川崎地域連合が支援をしている市議会議員の協力を得て、関係者以外立ち入り禁止の「みらい市議団控室」の見学をおこないま

した。また、川崎市議会副議長の岩隈市議からの申し出により、全員ではありませんでしたが副議長室も見学することができました。私たちが応援している議員がどのような場所で執務しているか知ることができる貴重な見学となりました。

最後、アクション3つ目として、川崎市などが推進している「特別市」のレクチャーを受けました。



説明者 地方分権・特別市推進担当 小林課長

特別市とは、県の区域外となり、市が原則として県の仕事をすべて担い、権限と財源を市に1本化する制度です。このことにより、国と直接やり取りができるようになり、素早くさまざまな行政サービスが向上し、さらに住みやすい川崎市を目指すというものです。そのために政令都市が連携して国などへ法制化を求める要請を行っています。

